

編集後記

■梅雨も終わりを迎え、これから例年のように暑い日が続きます。昨年は空梅雨であり夏の渇水に悩まされました。渇水乗り越えるには必要な雨ですが、今年の梅雨の長雨は各地に災害を引き起こし、改めて「防災は？」と考えさせられる出来事でした。

さて、サッカーのワールドカップ2006ドイツ大会も波乱の中で終了しました。前回の日韓大会では決勝トーナメントに進出し、ドイツとの親善試合は引分け、今度こそ世界にサムライ・ジャパンを…と期待しましたが本番ではご承知のとおりで誠に残念な結果でした。チームサッカーなのか個人技サッカーなのか分かれるところですが、基礎体力をベースにチームプレー（標準化）を行う中で個人技（創意工夫）が発揮できないと勝利は得られないということでしょうか。

■今月号の特集テーマ「標準化」から二つのイメージが湧きます。一つは、生産性の向上・品質水準の確保などのプラス要素であり、もう一つは、没個性、金太郎飴のマイナス要素です。構造物の標準示方書類は前

者の典型であり社会基盤の整備に大きく貢献しています。逆に、自然条件や社会条件が異なるにもかかわらず全国に同じ構造物が連なる不合理（需要に比べて過剰施設）が指摘されることもあります。

技術者にとっても標準設計を採用すれば安心感がありますが、逆に創意工夫が発揮できなかった不満が残ると思います。

世の中は価値観の多様化により少種大量生産から多種少量生産のトレンドにあります。地方の交通量の少ない道路の改良工事で標準の2車線を1車線半に変更して整備延長を延ばして利用者から喜ばれた記事を目にしたことが思い出されます。

また、河川整備の多自然工法のように元の地形の改変を少なくする、自然の素材を多用する、既往の生態系を守るなど、標準化が困難な工事でも散見されるようになりました。

これからの技術者には標準を盲目的に踏襲するのみでなく、適正な施設規模や環境への適合など、時には標準から外れる勇気が求められているのではないのでしょうか。

終わりにりましたが、ご多忙中にもかかわらずご執筆いただいた皆様方にあつく御礼申し上げます。

(坂本・森本)

機関連誌編集委員会

編集顧問

浅井新一郎	石川 正夫
今岡 亮司	上東 公民
岡崎 治義	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
佐野 正道	新開 節治
関 克己	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
橋元 和男	本田 宜史
渡邊 和夫	

編集委員長

村松 敏光

編集委員

清水 純	国土交通省
浜口 信彦	国土交通省
照井 敏弘	農林水産省
夏原 博隆	鉄道・運輸機構
岩本 弘之	中日本高速道路
新野 孝紀	首都高速道路
坂本 光重	本州四国連絡高速道路
平子 啓二	水資源機構
吉村 豊	電源開発
松本 敏雄	鹿島
和田 一知	川崎重工業
岩本雄二郎	熊谷組
嶋津日出光	コベルコ建機
金津 守	コマツ
山崎 忍	清水建設
村上 誠	新キャタピラー三菱
宮崎 貴志	竹中工務店
銅冶 祐司	東亜建設工業
中山 努	西松建設
森本 秀敏	日本国土開発
斉藤 徹	NIPPO
吉越 一郎	ハザマ
三柳 直毅	日立建機
岡本 直樹	山崎建設
庄中 憲	施工技術総合研究所

9月号「維持管理・延命特集」予告

- ・舗装、橋梁、コンクリート構造物の長寿命化とライフサイクルコスト最小化技術
- ・本州四国連絡橋の予防保全
- ・下水道管渠の更正技術の現状と今後の課題
- ・チタングリッド方式電気防食工法による阿曾・拳野洞門の補修工事
- ・サポートライニング工法の開発と施工事例
- ・回転式舗装試験機
- ・舗装の維持修繕計画支援技術
- ・交通規制を伴わない橋梁点検用移動足場の試行

No.678 「建設の施工企画」 2006年8月号

〔定価〕1部840円（本体800円）
年間購読料9,000円

平成18年8月20日印刷

平成18年8月25日発行（毎月1回25日発行）

編集兼発行人 小野 和日児

印刷所 株式会社技報堂

発行所 社団法人日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax. (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支部	〒060-0003 札幌市中央区北三条西 2-8	電話 (011) 231-4428
東北支部	〒980-0802 仙台市青葉区二日町 16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支部	〒950-0965 新潟市新光町 6-1	電話 (025) 280-0128
中部支部	〒460-0008 名古屋市中区栄 4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支部	〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支部	〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22	電話 (082) 221-6841
四国支部	〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支部	〒810-0041 福岡市中央区大名 1-8-20	電話 (092) 741-9380